



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。このたび、当院における母体胎児間輸血症候群の検討を行うことになりました。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151(代)

研究責任者 聖路加国際病院 小児科 金淵 昭一郎

# 当院における母体胎児間輸血症候群の検討

## 1. 研究の対象

2009年7月1日～2019年6月30日の間に当院で出生し、母体胎児間輸血症候群（Fetomaternal transfusion syndrome: 以下 FMT）と診断された新生児

## 2. 研究の目的・方法

日本版新生児蘇生法の普及により、新生児仮死への対応が標準化され予後の改善につながっています。その中でも、FMTは稀な疾患ですが胎児貧血のために新生児蘇生時あるいは蘇生後に早期に輸血を必要とする代表的な疾患です。当院での過去10年間で経験したFMT症例を通じて、FMTの疾患背景や診断・治療などを比較検討し、救命率の向上・神経学的予後のさらなる改善のために必要なことは何かを検討することが目的となります。

この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2020年9月31日の予定です。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 カルテ ID、性別、在胎週数、出生体重、現病歴、母体情報、分娩様式、臨床情報、検査データ、発達経過、等

## 4. 研究組織

聖路加国際病院 小児科 金淵 昭一郎